



証券コード：9326 株式会社関通

2024/4/12

2024年2月期 決算説明資料

2024年2月期通期連結 サマリー

■ 通期連結累計(前年比)

売上高+13.8%

↳11月より大口のお客様と取引開始

経常利益+12.6%

↳家賃増額は735百万円も着実にプラス成長

■ 通期連結累計(計画比)

売上高+1.5%

↳ 計画通り推移

経常利益△35.0%

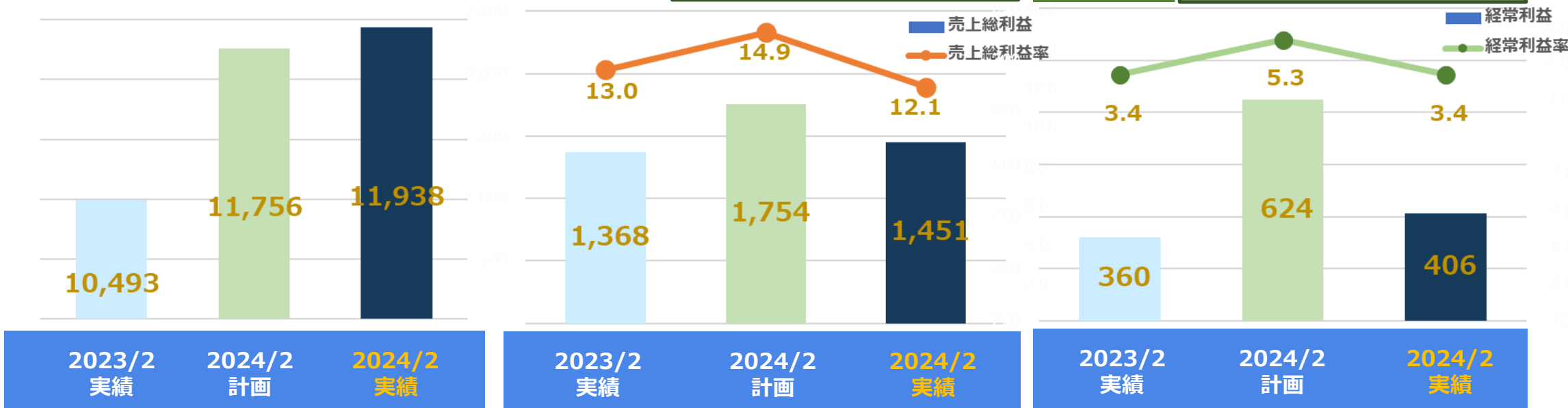
↳国内賃金上昇の影響もあり、派遣費用は下期に上期の2倍以上を計上

2024年2月期通期連結 下方修正について

- 前年比は売上・各利益とも前期を上回っており成長は順調
一方計画比は、2024年2月期計画策定時に労務費増加を一定に抑え派遣費用抑制したことが大きな乖離要因
- 想定を超える派遣関連費用の大幅増加とIT事業の進捗遅れの2点が売上総利益に影響
- また、自社WMS『クラウドトーマス』の旧バージョン除却・物流センター内での特定機器使用終了に伴う除却を計上したことで親会社株主に帰属する当期純利益も計画387百万円に対して実績49百万円と未達

売上高	前年比 +1,445(+13.8%)	売上総利益	前年比 +83 (+6.0%)	経常利益	前年比 +45 (+12.6%)
	計画比 +182 (+1.5%)		計画比 △303 (△17.2%)		計画比 △218 (△34.9%)
		売上総利益率	前年比 △0.9ポイント	経常利益率	前年比 ±0ポイント
			計画比 △2.8ポイント		計画比 △1.9ポイント

単位：百万円・%

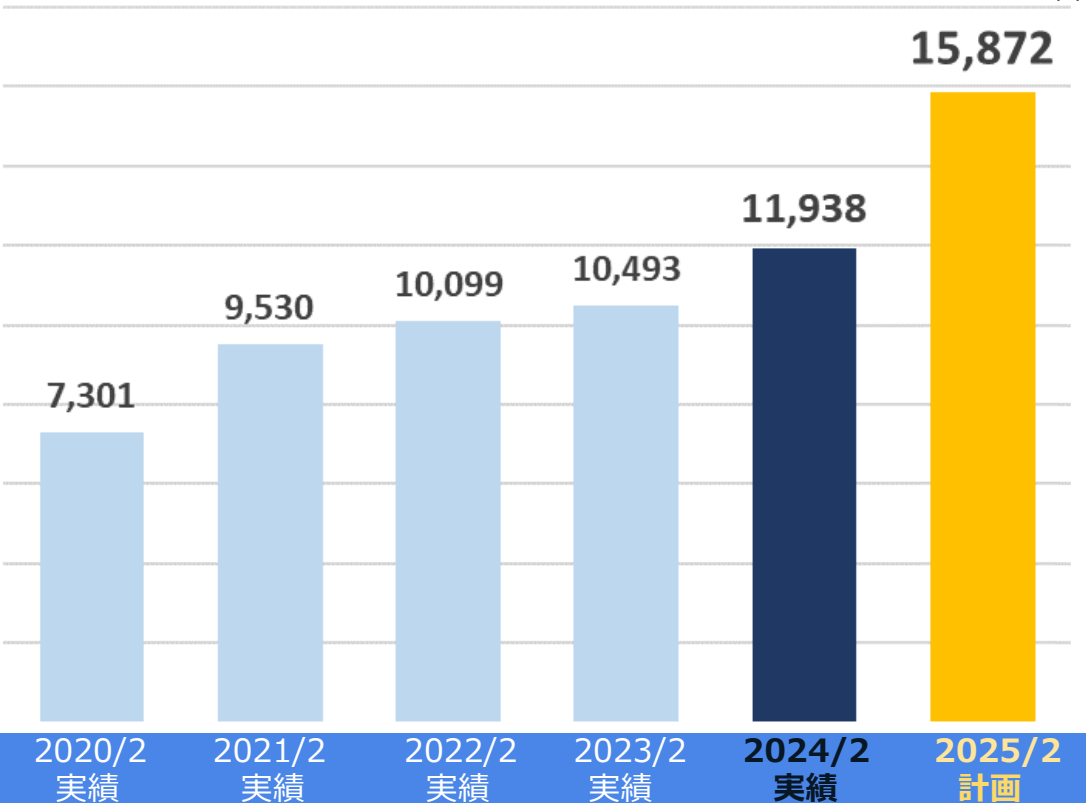


【通期推移】 連結業績

連結売上高

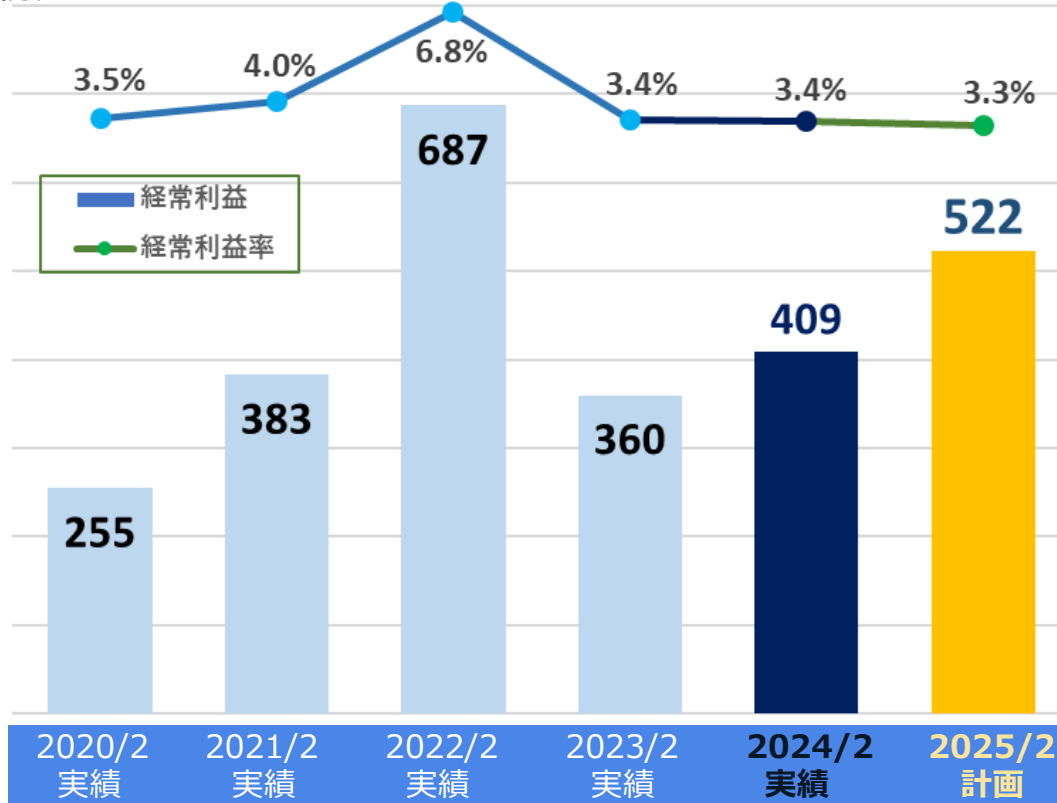
- **5期連続増収**、物流サービス事業中心に順調に伸長公表している中期経営計画はほぼ達成
- 2025年2月期より関通ネクストロジ分がプラス
売上高30,000百万円に向けてグループ体制構築へ

単位：百万円



連結経常利益

- 上期は順調に推移も下期は国内賃金上昇の影響大計画未達も前年比は増益
- 2025年2月期は事業構造を改善し将来への投資推進M&Aも加速し2027年**経常利益1,500百万円**へ



目次

I	決算概要・連結 前年比	6
II	決算概要・連結 計画比	9
III	決算概要・四半期別	12
IV	決算概要・セグメント	15
V	2025年2月期 連結業績予想	19
VI	中期戦略	25
VII	株主・投資家の方々へ	29

I. 決算概要・連結

前年比

【対前年】2024年2月期通期 累計

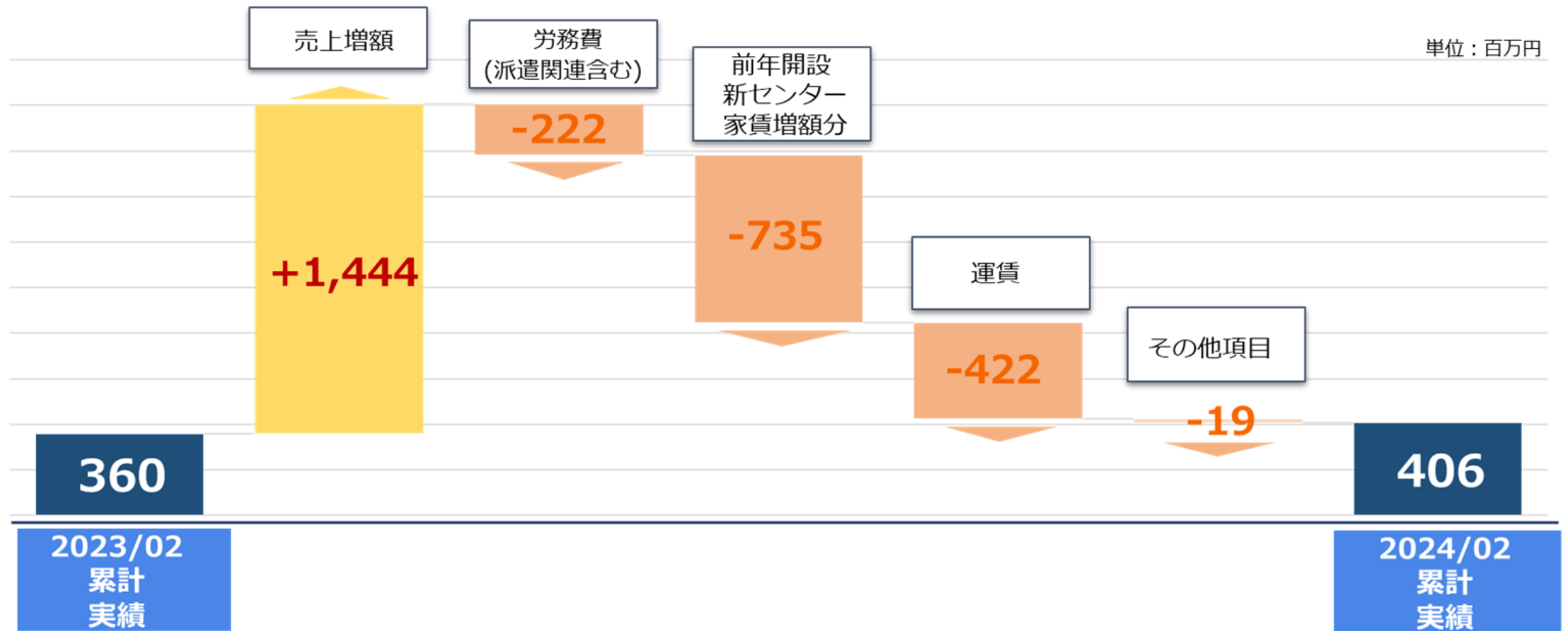
- 売上高は通期で過去最高
- 親会社株主に帰属する当期純利益の減少について、前期は土地売却益+1,068百万円を計上。一方今期はクラウドトーマスのバージョンアップに伴う旧バージョン除却等300百万円減が発生。

単位：百万円

	2023/2期 通期累計 [実績]	2024/2期 通期累計 [実績]	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	10,493	11,938	+1,444	+13.8
営業利益	392	410	+18	+4.7
経常利益	360	406	+45	+12.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	628	49	△578	△92.1

【対前年】 経常利益 増減分析

- 売上高は順調、23年11月より大型のお客様との新たな取引も開始し来期への影響大
- 但し同お客様はあまりスペース(坪数)を必要とせず、前年開設の新センター家賃負担分を補うには至らず



Ⅱ. 決算概要・連結

計画比

【対計画】2024年2月期通期累計

- 売上高は計画通りに推移
- 経常利益は国内賃金上昇の影響も大きく、特に派遣費用は下期に上期の2倍以上を計上し加速的に利益に影響
既に各お客様には物流事業の環境を踏まえ、作業料金の値上げ交渉に着手

	2024/2期 通期累計 [計画]	2024/2期 通期累計 [実績]	計画比	
			増減額	増減率(%)
売上高	11,756	11,938	+181	+1.5
営業利益	669	410	△259	△38.7
経常利益	624	406	△218	△35.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	387	49	△338	△87.2

【対計画】 経常利益 増減分析

- 売上高は好調に推移
- 倉庫内作業人員費用の増加は利益を圧迫、特に派遣関連のインパクト大
また、ITオートメーション事業での利用料計上遅れも想定外でありこちらも未達要因
合計で計画未達218百万円となったが、来期以降に向けた物流サービス事業での値上げ交渉に着手



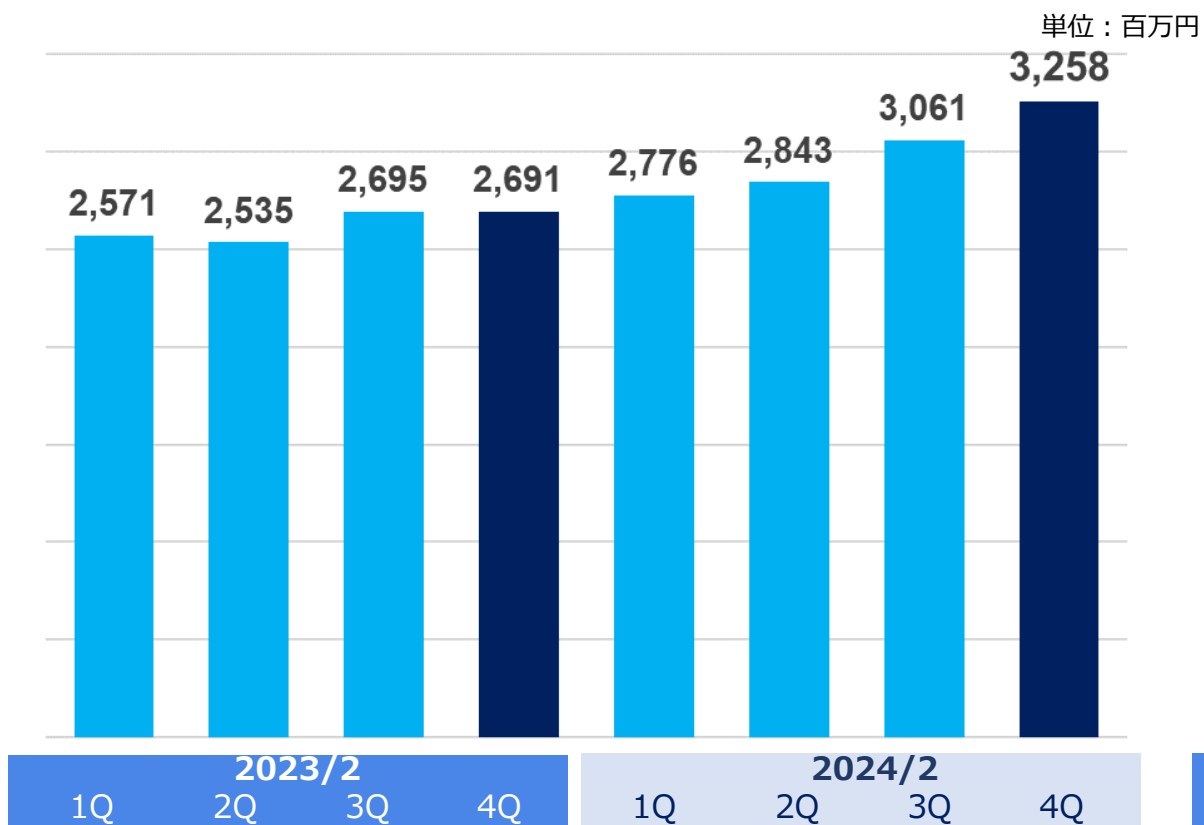


Ⅲ. 決算概要・四半期別

売上高・経常利益 四半期推移

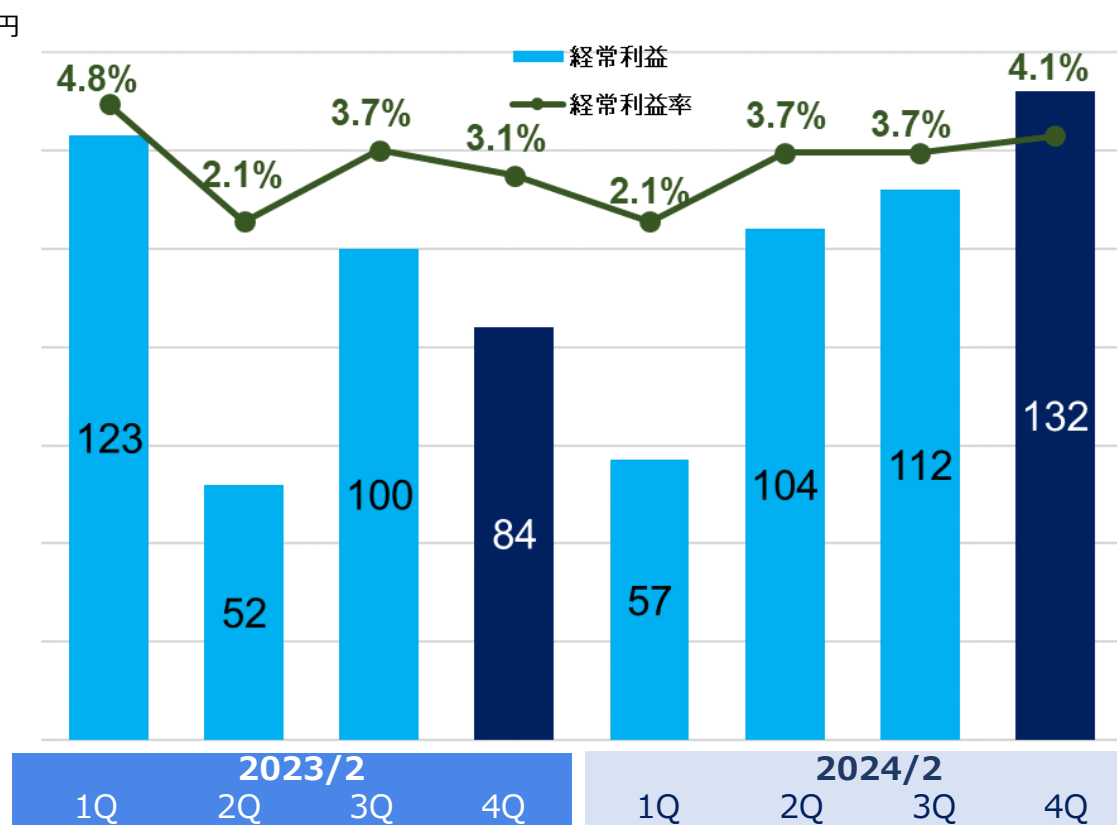
連結 四半期売上高

- 第4四半期では前年同期比567百万円プラス(+21.0%)
 起因①物流サービス事業では、
 2023年11月より大口のお客様との取引開始
 起因②IT事業では、月額利用料増加



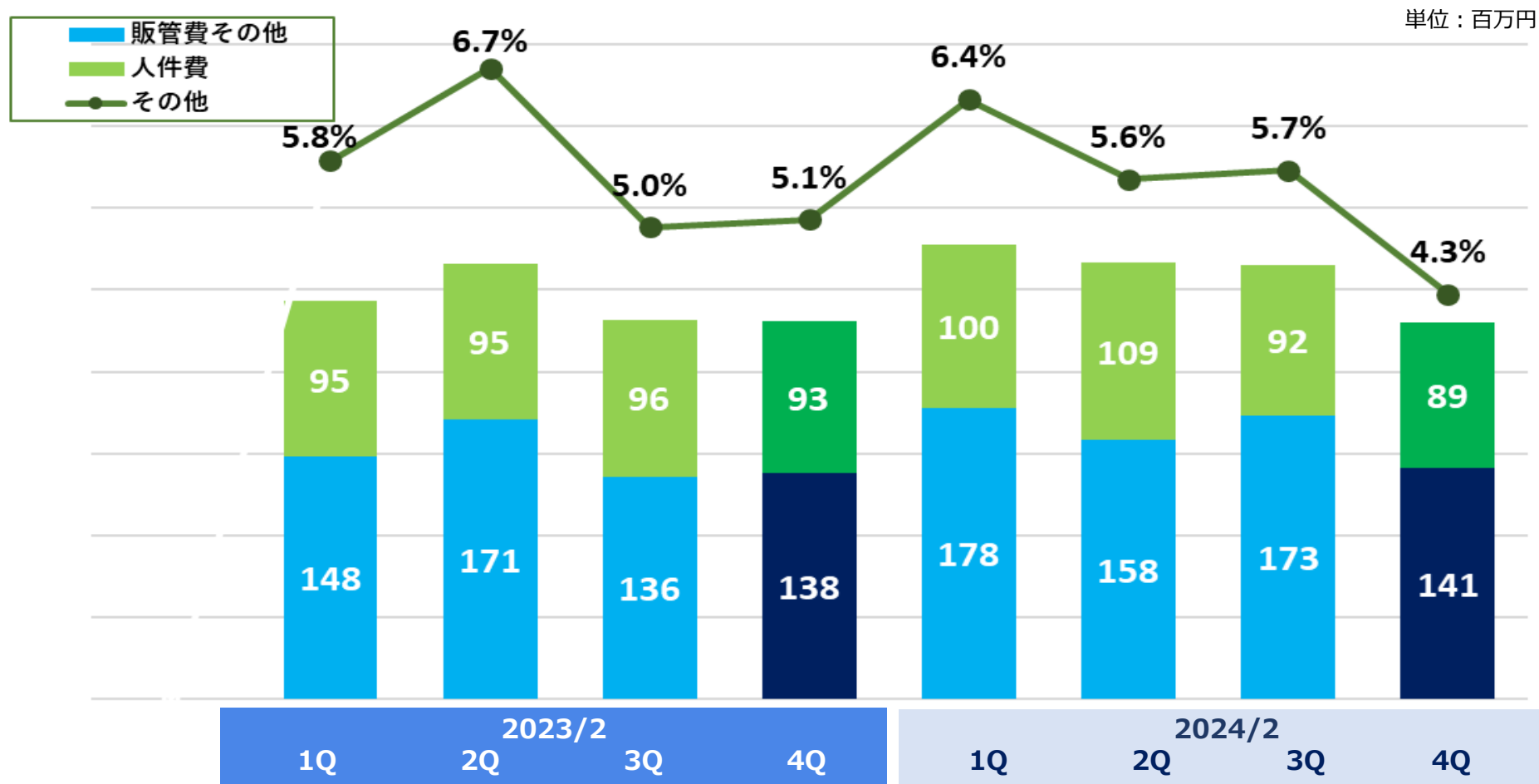
連結 四半期経常利益

- 第4四半期単体では前年同期比48百万円増益だが計画370百万円に対して238百万円未達
 派遣費用と運賃増の影響



販管費 四半期推移

■ 売上高の増減に対して安定した販管費率を継続



IV. 決算概要・セグメント

2024年2月期通期 セグメント別 累計

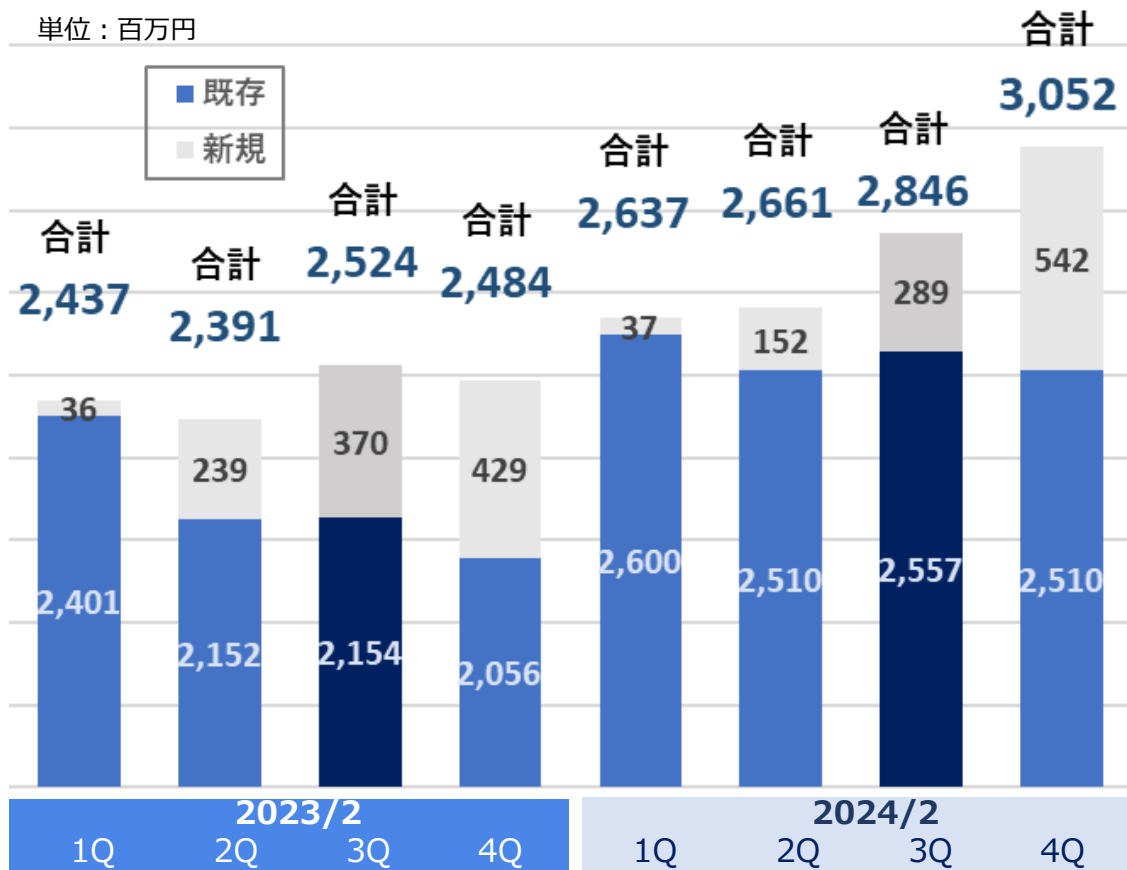
(単位：百万円)

- 物流サービス事業は売上好調も賃料増分を補いきれず、また派遣関連費用増がコスト増につながり利益減
- ITオートメーション事業は計画には届かずも、前年比で利益は着実に増加

		2023/2期 通期累計 [実績]	2024/2期 通期累計 [実績]	前年同期比 増減率(%)
物流サービス事業	売上高	9,837	11,197	+13.8
	営業利益	189	100	△46.7
SaaS利用料	売上高	269	350	+30.1
機器・導入・開発	売上高	276	284	+2.8
ITオートメーション事業 合計	売上高	546	634	+16.1
	営業利益	197	314	+59.2

物流サービス事業売上高 四半期推移

物流サービス事業 四半期売上高



第4四半期

■ 既存のお客様

年末繁忙期はひと段落も
業績は好調



前年同期比+454百万円(+22.0%)

■ 新規のお客様

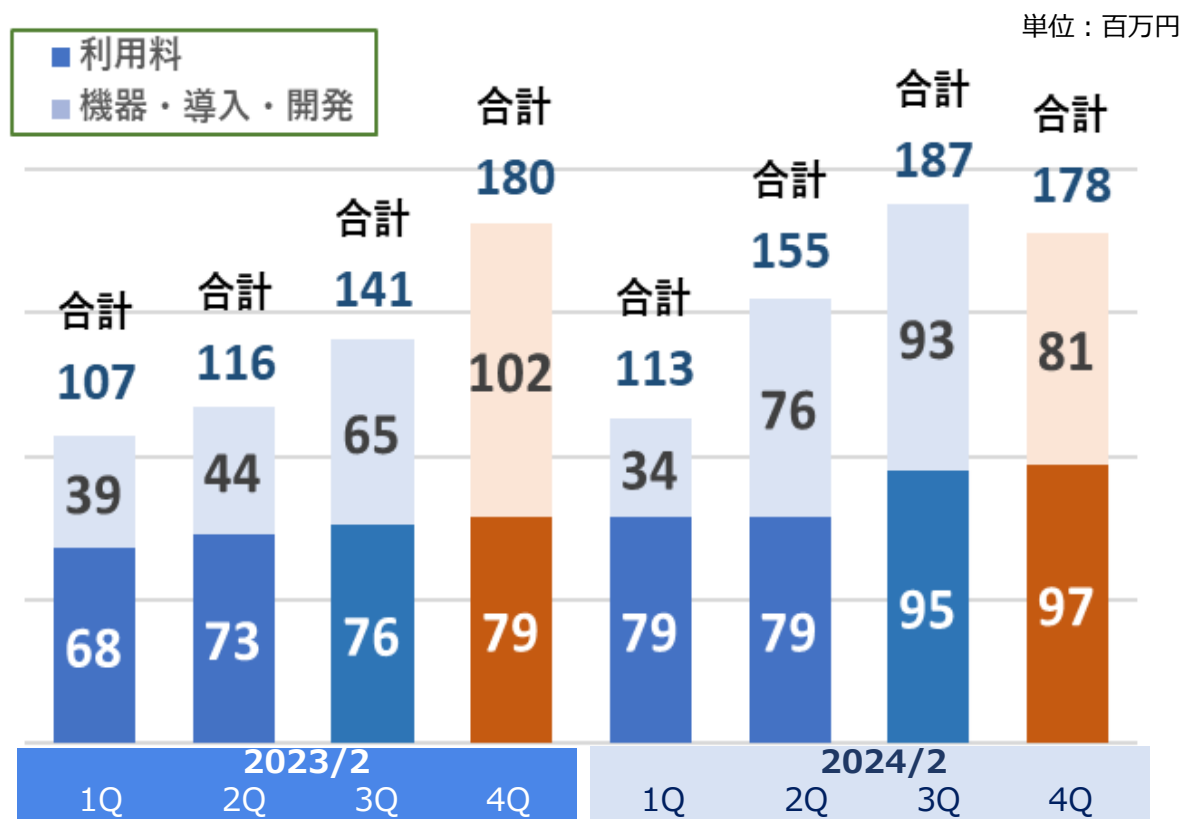
11月より開始の大型案件好調



今後の業績に好インパクト

ITオートメーション事業売上高 四半期推移

ITオートメーション事業 四半期売上高



■ 利用料

お客様によりテスト・設計期間の長短あり、計上の期ズレはあるものの着実に増加



来期も安定した増加を計画

■ ECOMS

2025年2月期に外販開始



現時点では90%仕上がり
社内での自動化実績の進行中



V. 2025年2月期 連結業績予想

2024年2月期の振り返り

- **物流サービス事業**では、上場後売上高5期連続増収と好調、一方物流コストは大きく3つ
 - ①賃料 倉庫増に対してお客様利用で埋めきれずコストオン
 - ②運賃 2024年問題が話題となるも現在大手3社との関係は良好、価格改定時にはお客様へ説明しインフラ維持の重要性にも理解を求めていく
 - ③人件費 国内賃料増に合わせるように、下期に連れて上昇した派遣中心とした費用に対応できず人員計画の見通しの精度は最大の課題
- **ITインフォメーション事業**に関しては新規お客様大型化による利用料発生の遅れが発生も徐々に対応好調な需要に対するサポート体制の確立は急務

	売上高	コスト
物流サービス事業 (91%)	<ul style="list-style-type: none"> ・【既存】のお客様とは順調に継続推移 平均契約年数:5.6年(2024年2月) ・【新規】は大口のお客様と11月取引開始、その他にも案件数多く順調 	<ul style="list-style-type: none"> ・賃料が前年比7.3億円増 新規開設センター分を埋めきれず ・ドミナント戦略は順調も、人件費増を含む人員計画の見通しは最大の課題
ITオートメーション事業 (9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・WMS『クラウドトーマス』のお客様は順調に推移 ・新規はお客様の規模拡大によるテスト・開発の長期化により、上期計上遅れが発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数体制で利益拡大 お客様件数拡大に合わせたサポート体制の確立が課題 ・新商品ECOMSは90%商品として確立、社内での自動化実績作りを進行中

2025年2月期

次の大きな成長に向けた屈伸～内部体制の再構築～の1年

物流サービス事業

- **現場に即した採用体制の見直し**
 - ↳ マーケティングノウハウを活かした採用活動に切替
- **現場人員の教育体制の稼働**
 - ↳ 基本的なことから教育訓練体制を見直し
- **関通ネクストロジの黒字確立**
 - ↳ WMS投入により作業効率向上

ITオートメーション事業

- **新OMS『ECOMS』のリリース**
 - ↳ デモ環境の提供や社内での自動化実績を構築中
- **お客様増に対応できるサポート体制**
 - ↳ 人材教育により質・量の向上

【通期計画】 2025年2月期 連結

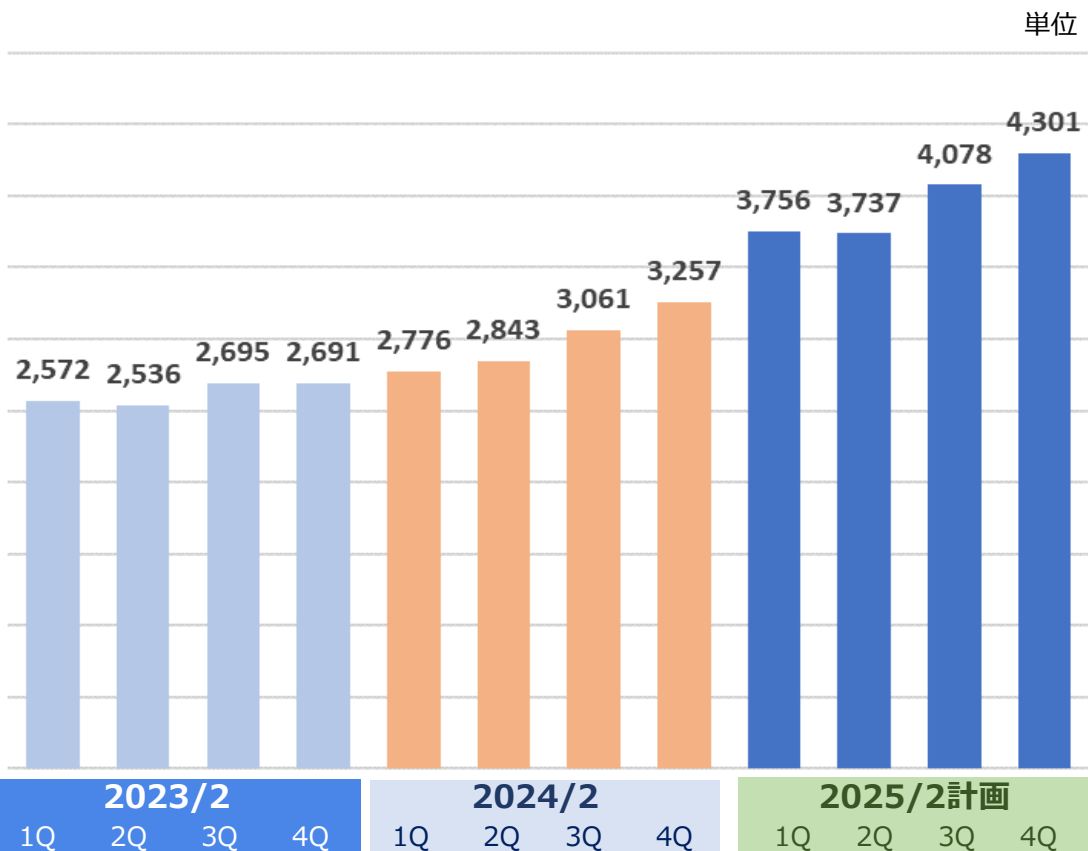
- 売上高は2023年12月設立の関通ネクストロジと連結になり15,000百万円を越える
開示していた中期経営計画の16,000百万円に近い数値を計画
- 内部体制を再構築する1年ではあるが、利益は下期に回復し前期比30%程度の増計画

	2024/2期 通期累計 [実績]	2025/2期 通期累計 [計画]	前期比 <small>(単位：百万円)</small>	
			増減額	増減率(%)
売上高	11,938	15,871	+3,933	+32.9
営業利益	410	542	+132	+32.3
経常利益	406	522	+116	+28.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	49	352	+303	+609.8

【通期計画・四半期推移】2025年2月期 連結

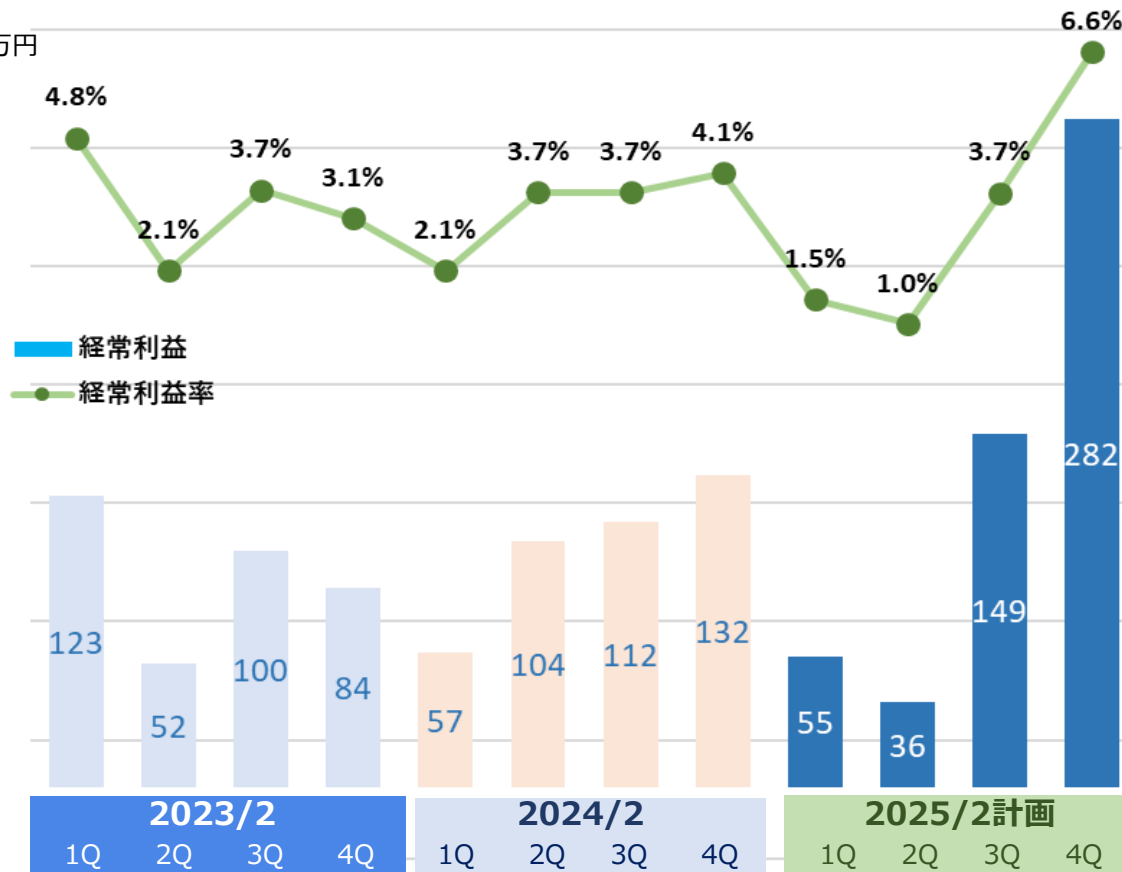
連結 四半期売上高

- 第4四半期にもっとも売上が高くなる
新規のお客様の数字が徐々に積みあがっていく構造



連結 四半期経常利益

- 上期はお客様との倉庫作業料交渉中、また内部体制再構築の影響で計画的に利益率減
- 下期は上期の土台の上にしっかりと積上げ



【通期計画・セグメント別】 2025年2月期累計

(単位：百万円)

- 物流サービス事業は前期12月設立の関通ネクストロジの数値が積み上がり約15,000百万円の計画
- ITオートメーション事業は内部体制再構築の元、サポート体制の強化に努める1年
機器・導入・開発には新商品ECOMS分を含む

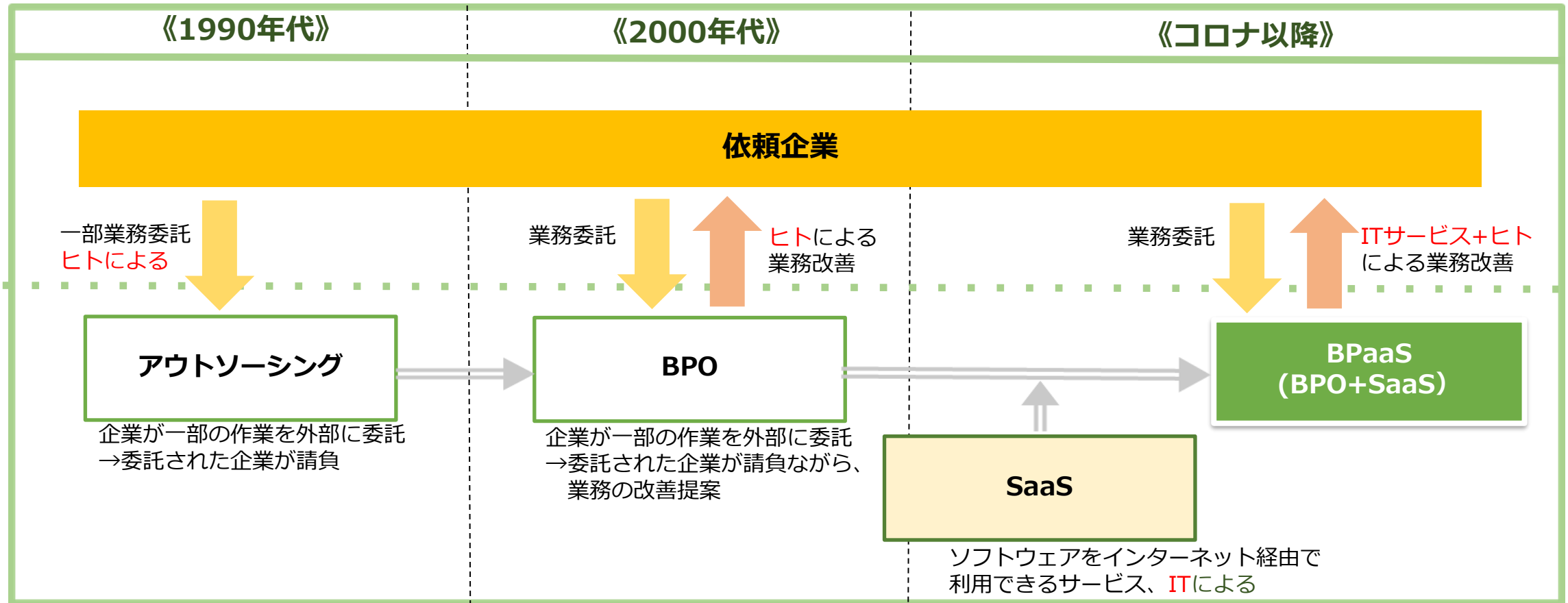
		2024/2期 通期累計 [実績]	2025/2期 通期累計 [計画]	前期比 増減率(%)
物流サービス事業	売上高	11,197	14,801	+32.2
SaaS利用料	売上高	346	435	+25.7
機器・導入・開発	売上高	288	547	+89.9
ITオートメーション事業 合計	売上高	634	982	+55.0



VI. 中期戰略

中期戦略：BPaaS物流モデル

- BPaaSとは、一部業務の受託先へ改善提案(BPO)するだけでなく、クラウドサービスを組み合わせ(SaaS)することで業務プロセス全体の受託改善ができる
主にバックオフィス・コールセンター・広報マーケティングなどのノンコア業務で提供されるサービス
- 関連のビジネスモデルは既にBPaaSモデルの物流版。



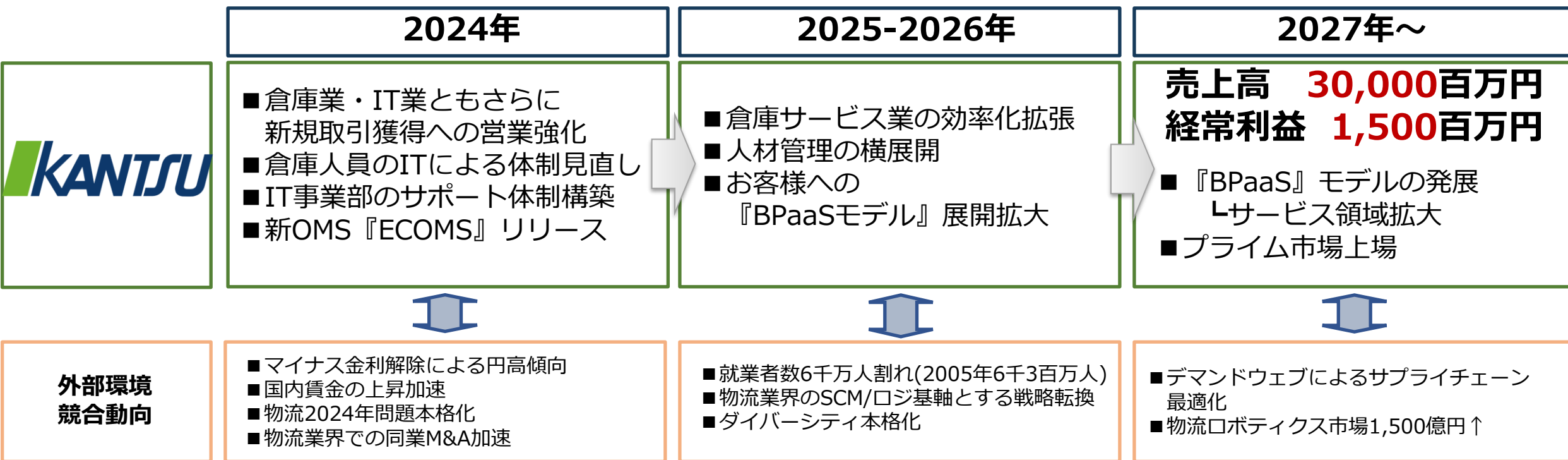
中期戦略：今後展開する物流BPaaS

- これまでは物流倉庫内サービス中心で事業を展開してきたが、そのベースにあるのは、“お客様の声を聞いて業務改善・自社内でうまくいったことを横展開”
- 今後はその**これまでのベースを活かしつつ内部体制を再構築、そこから事業領域を拡大**し、BPaaSモデルとしてITを組み合わせたサービスをお客様に提供していく
- 事業領域内でのリソース獲得に向けたM&Aは積極的に推進



成長イメージ

- 物流業界では、2024年問題も一因ではあるが人材不足が業務拡大の阻害要因となっている
また、自社でDX化をするにはDX人材が不足、システム導入や運用が遅れているとの見解も多い
- 関通はBPaaS化により、企業のコア事業も含めた業務全体を巻き取ることが可能となり、
ワンストップで、**業界内での圧倒的な競争優位性**を構築する



※『フィジカルインターネット』(フィジカルインターネット実現会議作成)参照



Ⅶ. 株主・投資家の方々へ

株主政策-配当

- 親会社株主に帰属する当期純利益は49百万円、一株あたり4.94円だが例年通り10円の配当を実施します

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2023年2月期)
基準日	2024年2月29日	2024年2月29日	2023年2月28日
1株当たり配当金	10円00銭	10円00銭	10円00銭
配当金総額	100百万円	-	103百万円
効力発生日	2024年5月30日	-	2023年5月30日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

IR年間計画

- 2020年上場後、コロナ禍がひと段落したことでIR活動は昨年より活発化。今期は計画立てて、既存の株主様・新規の投資家様方々に関通を理解いただく機会を設定し、より多く丁寧に情報をお届けしたいと考えております。詳細は随時弊社IRページで更新して参ります。至らない点も多くあるかと思いますが、関通をどうぞ宜しくお願いいたします。

年間スケジュール

		決算関連		株主総会		イベント	
第1四半期	3月						個人投資家説明会
	4月	12日	決算発表				決算説明会
	5月			29日	定時株主総会		個人投資家説明会
第2四半期	6月						投資家倉庫見学会(関西)
	7月	12日	第1四半期決算発表				決算説明会
	8月						個人投資家説明会
第3四半期	9月						投資家倉庫見学会(関東)
	10月	11日	第2四半期決算発表				決算説明会
	11月						個人投資家説明会
第4四半期	12月						
	1月	14日	第3四半期決算発表				決算説明会
	2月						個人投資家説明会

免責事項

免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載の内容に重要な変動が生じた場合は、本資料を更新・修正することがあります。



【お問合せ先】

株式会社関通 IR担当

お問合せについては、IR専用フォームをご利用ください。

URL : <https://www.kantsu.com/>

IR専用フォーム

